

**平成31年度
鹿児島大学法文学部
編入学学生募集要項**

鹿児島大学法文学部

郵便番号890-0065

鹿児島市郡元一丁目21番30号

電話 099-285-7525

【法文学部】

教育目標

法文学部は、情報化、国際化および地域の変化に伴う諸問題に適切に対処できる現実的な問題解決能力をもつ人材の育成を教育目標にしています。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材像

- (1) 人文社会科学を学ぶ上で必要となる幅広い基礎学力を備えている人
- (2) 地域社会と世界の人間・文化・社会に関心をもつ人
- (3) 現実に即した問題解決能力・言語能力・情報処理能力の習得に意欲のある人
- (4) 大学で自分の将来および可能性を探求する意欲のある人

【法経社会学科】

教育目標

法経社会学科は、社会科学に関する基礎的体系的な知識を修得し、幅広い視野の下で身につけた法学、社会学、経済学などの社会科学の素養を、地域の問題発見と課題解決に積極的に活用できる人材の育成を目標としています。

入学者受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材像

- (1) 社会科学の幅広い知識の修得を目指している人
- (2) 地域社会や国際社会における問題発見と、その問題解決に関心のある人
- (3) 社会の抱える問題に強い関心をもち、主体的に学習する姿勢をもっている人

〈法学コース〉

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材像

- (1) 社会の仕組みや外国語を学ぶうえで必要な基礎学力に加え、地歴・公民分野における高等学校教科書レベルの知識を備える人
- (2) 法学および政治学の専門的知識の体系的な学習とともに、外国語および多様な学問分野を横断した幅広い知識の修得に意欲のある人
- (3) 問題発見・解決能力を踏まえて、実践的な法解釈力、政策立案能力を向上させ、国際知識を修得することに意欲がある人
- (4) 社会規範を尊重し、地域・社会貢献に意欲がある人
- (5) 法および政治に関わる社会的問題について強い興味と関心をもち、主体的に継続して学習できる人

編入学試験では、上記のような人材像を踏まえ、他大学等において身につけた学力に加え、社会科学を専門的に学ぶために必要な意欲と能力について、筆記試験および面接ならびに成績証明書の成績を総合して選抜を行います。

〈地域社会コース〉

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材像

- (1) 他大学などでの2年間の学習によって基礎的な知識を習得している人
- (2) 現代の地域社会に関心を持ち、問題解決の意欲を持つ人
- (3) 積極的に地域社会に関わる意欲のある人

選抜方針

編入学試験では、文章や資料の読解力、社会的な問題に対する関心や思考力、ならびに論理的な説明能力をみるために、筆記試験および面接ならびに成績証明書の成績を総合して選抜を行います。

〈経済コース〉

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材像

- (1) 他大学等で2年以上にわたり、基礎的な学習内容をしっかりと習得している人
- (2) 地域的および国際的な経済ならびに関連領域の問題に対して常に関心を持ち、解決しようという意欲のある人
- (3) 新しい課題に積極的に取り組み、自らを成長させようという意欲のある人

選抜方針

このような学生を養成するため、編入学試験では、成績証明書ならびに筆記試験および面接の成績を総合的に評価し、他大学等で2年以上学んで得た学力に加えて、経済学および関連領域に強い関心を持ち、柔軟な発想力と適切な論理の展開能力、表現能力の優れた入学者を選抜します。

【人文学科】

教育目標

地域および世界の多様な文化、歴史、環境への深い造詣に基づき、広い視野に立って、地域社会と国際社会の課題を実践的に解決できる人材、人間の心と行動への深い造詣に基づき、心理的支援によって地域に貢献できる人材、心理学の知見を活用し産業・行政分野で貢献できる人材の養成を教育目標としています。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材像

- (1) 日本を含む世界各地の文化・歴史・環境や人間の心と行動について学ぶ強い意欲を持つ人
- (2) 学習する上で必要となる言語能力や思考力、および基礎的学力を備えている人
- (3) 批判的分析力を身につけている人
- (4) 社会や歴史、思想、文化、環境、科学に関する基礎的知識を幅広く習得している人
- (5) 事象を論理的に考察し数理的に処理する能力を備えている人

〈多元地域文化コース〉

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材像

- (1) 日本を含む世界各地の文化・歴史・環境について学ぶ強い意欲を持つ人
- (2) 学習する上で必要となる言語能力や思考力、および基礎的学力を備えている人
- (3) 批判的分析力を身につけている人
- (4) 社会や歴史、思想、文化、環境に関する基礎的知識を幅広く習得している人
- (5) 数理的処理の基礎を学んでいる人

選抜方針

編入学試験では、他大学等での学習経験が今後の修学に生かせるかどうかに関心をもち、重点をおいた選抜を行います。具体的には、多元地域文化の専門的知識を習得する土台となる幅広い基礎的知識、批判的分析力、論理的思考力、表現力とともに、高い意欲をもっているかどうかという点を重視し、筆記試験および面接ならびに成績証明書の成績を総合して選抜します。

〈心理学コース〉

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材像

- (1) 人間の心と行動について学ぶ強い意欲を持つ人
- (2) 学習する上で必要となる言語能力や思考力、および基礎的学力を備えている人
- (3) 批判的分析力を身につけている人
- (4) 事象を論理的に考察し数理的に処理する能力を備えている人
- (5) 社会や歴史、思想、文化、環境、科学に関する基礎的知識を幅広く習得している人

選抜方針

編入学試験では、他大学等での学習経験が今後の修学に生かせるかどうかに関心をもち、重点をおいた選抜を行います。具体的には、心理学の専門的知識を習得する土台となる幅広い基礎的知識、批判的分析力、論理的思考力、表現力とともに、高い意欲をもっているかどうかという点を重視し、筆記試験および面接ならびに成績証明書の成績を総合して選抜します。

1. 募集人員

学部名	学科名	コース名	募集人員	編入学年次
法文学部	法経社会学科	法学コース	10人	3年次
		地域社会コース		
		経済コース		
	人文学科	多元地域文化コース		
	心理学コース			

2. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者とする。

- (1) 短期大学もしくは高等専門学校を卒業した者または平成31年3月卒業見込みの者
- (2) 大学を卒業した者または平成31年3月卒業見込みの者
- (3) 学校教育法第104条第4項の規定により、大学評価・学位授与機構からの学士の学位を授与された者または平成31年3月までに授与される見込みの者
- (4) 他の大学に2年以上（休学期間を除く。）在学し、50単位以上を修得した者または平成31年3月までに2年以上（休学期間を除く。）在学し、50単位以上を修得見込みの者
- (5) 外国において学校教育における14年以上の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を修了した者または平成31年3月までに修了見込みの者
- (6) 学校教育法施行規則附則第7条（旧制高等学校、旧制専門学校を卒業した者等）の規定により大学の一般教養課程を修了した者と同等であると認められる者
- (7) 上記(1)～(6)の各号のいずれかに該当し、外国の国籍を有する者（日本国の永住許可を得ている者を除く。）で、公益財団法人日本国際教育支援協会が実施する「日本語能力試験」のN2（旧2級）以上を認定された者

※ 合格した場合でも、出願資格に応じた号において、上記(1)号の短期大学もしくは高等専門学校を卒業していない者、上(3)号の大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与されていない者、上記(4)号の他大学での在学期間が2年に満たない者、上記(4)号の修得した単位が50単位に満たない者、または上記(5)号の外国において学校教育における14年以上の課程を修了していない者については、入学を許可しないので注意すること。

※ 他大学を卒業見込みで受験して合格した者が卒業できなかった場合には、上記(4)号の出願資格により出願したものとみなす。

3. 出願手続

(1) 出願期間

平成30年9月25日（火）～9月28日（金）

受付時間 9時～16時（ただし、12時～13時は除く。）

郵送の場合、9月28日（金）16時までに必着とする。

(2) 出願書類等提出方法

志願者は、出願書類を整え一括して提出すること。郵送の場合は、必ず本学所定の封筒を利用して、書留速達郵便とする。

	出願書類など	摘 要
1	編入学志願票	本学所定の用紙に必要事項を記入すること。
2	写真票・受験票	出願前3か月以内に撮影した写真を本学所定の写真票および受験票に貼ること。(上半身, 脱帽, 正面, 縦5cm×横4cm)
3	成績証明書	出身学校長が作成し、厳封したもの。 なお、履修中の科目についてはその旨記載すること。
4	卒業(見込)証明書 または在学(期間) 証明書	出身学校長が作成したもの。 短期大学、高等専門学校もしくは大学を卒業(見込)の者は、卒業(見込)証明書。大学に在学中の者は、在学証明書、退学した者は在学期間証明書。
5	学士の学位授与証明書 (出願資格(3)に該当する志願者)	大学評価・学位授与機構が発行したもの。 ただし、授与される見込みの者は、所属長が発行した学位授与を申請する予定の証明書。
6	入学検定料(30,000円)の振替払込受付 証明書(お客さま用)	入学検定料(30,000円)は、平成30年9月14日(金)以降に、(それ以前は払い込まないこと)必ず郵便局の受付窓口で払い込むこと。その際、払込取扱票等の※印欄は、必ず記入すること。ATMでの払い込みはできないので留意すること。 振替払込受付証明書(お客さま用)を本学所定の台紙に貼り提出すること。 また、既納の入学検定料は次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しない。 ア) 入学検定料を払い込んだが、出願しなかった場合 イ) 入学検定料を誤って二重に払い込んだ場合
7	受験票送付用封筒	受験票の郵送を希望する志願者は、本学所定の封筒に、住所、氏名および郵便番号を記入し、362円分の切手を貼ること。
8	宛名シール	この要項に折り込んであるシールに住所、氏名および郵便番号を記入すること。
9	日本語能力試験(N2以上)の認定書の写し (出願資格(7)に該当する志願者)	外国の国籍を有する者(日本国の永住許可を得ている者を除く。)は、公益財団法人日本国際教育支援協会が実施する「日本語能力試験(N2以上)の認定書の写し」を提出すること。
10	その他	日本に在住する外国人は、市区町村長の発行する「住民票の写し」(在留資格が記載されたもの)を、その他の者はパスポートの写しを提出すること。

(注意) 出願書類等に不備、記入もれなどがある場合は受付できないので、十分点検して提出すること。

なお、不備のものは返却する。

(3) 出願書類等提出先

〒890-0065 鹿児島市郡元一丁目21番30号

鹿児島大学法文学部学生係 TEL 099-285-7525

(4) 受験票の交付

出願書類を直接持参した者にはその際に、郵送した者には郵送で、受験票を交付する。

4. 選抜方法

編入学者の選抜は、筆記試験および面接ならびに成績証明書の成績を総合して行う。成績証明書は面接の参考資料とする。

※検査科目の合計点は200点とする。

5. 学力検査の日時・場所・検査科目

期 日	検査科目	時 間	場 所
平成30年10月20日（土）	筆記試験※	9：00～11：00	法文学部
	面 接	13：00～ (法学コースは15：00～)	法文学部

※法経社会学科法学コースにおいては「法学」を、地域社会コースにおいては「地域社会総合」を、経済コースにおいては「経済学」を課し、人文学科多元地域文化コースにおいては「人文学」を、心理学コースにおいては「心理学」（英語の能力を問う問題を含む）を課す。

6. 合格者の発表

平成30年11月9日（金） 10時

（鹿児島大学総合教育研究棟玄関および法文学部ホームページ（http://www.leh.kagoshima-u.ac.jp/wp_leh/）に掲示するとともに合格者本人宛に通知する。なお、電話などによる問い合わせには応じない。）

7. 入学手続

(1) 期 間 平成30年12月3日（月）～12月7日（金）

受 付 時 間 9時～16時（ただし、12時～13時は除く。）

郵送の場合、12月7日（金）16時までに必着とする。

(2) 編入学時に要する経費等

入学料 282,000円（予定額）（入学手続時に納入する。）

授業料 前期分 267,900円（予定額）

（年額 535,800円）（予定額）

（注）入学料、授業料改定が行われた場合は、改定額が適用されます。

8. 注意事項

(1) 出願後の出願書類の記載事項の変更は認めない。

(2) 受験の際は、受験票を必ず携行すること。

(3) 障害（学校教育法施行令第22条の3に準ずる障害の程度）がある者で、受験および修学上特別な配慮を必要とする者は、出願前に本学に相談すること。

(4) 不明な点は、鹿児島大学法文学部学生係（TEL 099-285-7525）へ問い合わせること。

9. 編入学後の履修について

(1) 編入学後は、3年次に編入し、各学科・各コースで定めるカリキュラムに従い履修する。

(2) 編入学以前に履修した単位は、法文学部の卒業必要単位として換算・認定することがあるが、卒業要件に不足する単位は、本学部の履修基準に従って履修しなければならない。

(3) 編入学後の履修に関するオリエンテーションを平成31年3月14日（木）（13：30～）に実施するので、入学手続者は全員出席すること。なお、人文学科は其の際に編入学後のゼミ所属などに関する説明もあわせて行う。

(4) 修業年限は2年とし、休学、停学等の期間は算入しない。在学期間は修業年限の2倍を超えることはできない。

(5) 平成31年度の心理学コースへの編入学生は、公認心理師法附則第2条第3号および第4号（施行日前に大学に入学した者に対する「特例措置」）の対象とはならない。詳しくは厚生労働省の公認心理師関連情報を確認すること。なお、編入学生も公認心理師受験資格取得に必要な指定科目を全て修めれば大学における受験資格の要件は満たせるが、それらの科目の一部には、成績等による受講制限（約30名）が設けられている。

10. 入試情報開示

受験者の個人成績を次により開示する。

(1) 開示内容

総合得点を開示する。

(2) 開示期間

平成30年11月13日(火)～12月12日(水) 9時～17時まで(ただし、12時～13時、土・日曜日、祝日を除く。)

(3) 開示請求方法

1) 請求者 受験者本人に限る。(代理人の請求は認めない。)

2) 請求方法

①法文学部学生係で直接、開示請求する場合は、受験者本人が受験票を提示した上で、本学部所定の下記様式の開示請求書に必要事項を記入して提出すること。開示内容は郵送にて回答する。返信用封筒(長形3号封筒に簡易書留392円分の切手を貼付し、宛先を明記)を持参すること。

②郵送により請求する場合は、次の(イ)～(ハ)を取り揃えて、封筒の表に「編入学入試情報開示請求」と朱書し、必ず書留郵便で法文学部学生係へ請求すること。ただし、開示期間中の消印のあるものに限り受け付ける。

(イ) 開示請求書(様式例のとおり)

様式例 A4用紙

入試情報開示請求書
平成 年 月 日
鹿児島大学法文学部長 殿
請求者 住所
電話
氏名
受験学科
受験番号
私の入試成績について、入試情報の開示を請求します。

(ロ) 受験票

(ハ) 返信用封筒(長形3号封筒に簡易書留392円分の切手を貼付し、宛先を明記する。)

・請求先

〒890-0065 鹿児島市郡元一丁目21番30号 鹿児島大学法文学部学生係

(4) その他

平成30年度以前の個人成績は開示しない。

※個人情報の取扱いについて

出願により知り得た情報は、入学者選抜、入学後の学務業務および授業料の債権管理等を行うためののみ使用し、他の目的には使用しません。